

# 桜ヶ丘小学校の教育相談・支援体制について



## ◆ お子さんが自己肯定感、自己有用感を感じられるように努めます

桜ヶ丘小学校では、毎日の授業や帰りの会等の中で、仲間の頑張りや良さを認め合う活動を行っています。5・6年生がリーダーシップを発揮し、相手を大事にしたあいさつを大切に、笑顔の桜ヶ丘小学校をめざしています。「自分には、こんないいところがある。自分はけっこうがんばっているな。自分はみんなの役に立っている。」とお子さんが思えるよう声かけをしていきます。

## ◆ お子さんの不安や悩みの早期発見、早期対応に努めます

いじめをはじめとした子どもの悩みの早期発見、早期対応のために、年に3回の心のアンケートやQU アンケートを実施し、その結果をもとに全児童に定期的に教育相談を行っています。対応の際には、学級担任だけではなく、学年主任、生徒指導、養護教諭、教頭等、全職員で一番良い方向に向かうために話し合って動いています。

## ◆ お子さんも保護者も相談しやすいように、たくさんの相談窓口を用意しています

スクールカウンセラー（SC） 堀江  
・臨床心理士が専門的な知識や技能を生かしてカウンセリングを行います。  
・月に1・2回来校して児童の観察や、保護者と児童の相談に応じます。  
・北舎1階のルームで行います。（工事中は南舎3階ルーム）

COCO ふか相談員（心のサポート支援） 本川  
・月・火・水・木曜日の1時間目～4時間目に、児童の悩みを聞きながら、支援を行います。（4月16日よりスタート）  
・南舎1階 COCO ふかルームで行います。  
・相談希望の方は、担当までご連絡ください。

スクールソーシャルワーカー（SSW） 安田  
不登校、虐待、いじめ、非行、貧困等の問題に対し、保健・福祉・医療の関係機関と連携して、環境改善に取り組みます。

特別支援コーディネーター 樋口  
特別支援学級、ふれあい教室、言葉の教室に関わる相談や、個別の支援についての相談に応じます。

この他にも、可児市福祉支援課や保育課、医療機関、警察、各関係機関等の専門家と連携を図り、様々な悩みに対応できるように努めていきます。ご家庭で抱え込まずに、お気軽にご相談ください。

スマイリングルーム（可児市教育支援センター）  
学校に行きたくても行けない子どもたちが自分を見つめ生活の力を高める中で、社会的に自立できるように支援します。  
可児市警研所

通級教室 藤田・林・井戸  
・児童の願いと実態をつかみながら、その子に合わせたペースで支援を行います。  
・北舎1階のルームで行います。（工事中は南舎3階ルーム）

担当：教育相談コーディネーター  
教頭 渡辺 史子 ☎64-0700

